

シルバーだより もとみや



4号

■発行日／平成23年1月1日 ■発行所／社団法人本宮市シルバー人材センター
■住 所／本宮市本宮字太郎丸112-3 ■電 話／0243-34-5226

白沢老人福祉センターボランティア

年頭あいさつ

理事長 根本 守



新年のあいさつ

本宮市長 佐藤嘉重



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、健康でよい年を迎られましたこととお喜び申し上げます。昨年は、労働者派遣事業、刃物研ぎ事業、家事援助等の新たな事業の取り組みをいたしました。

また、会員各位は、融和と協調による充実した一年であつたと感じます。

本年は、公益社団法人設立に向け、より飛躍した年となりますよう願うとともに、会員の皆様が心身ともに健康で生きがいのある自立した人生を送ることが出来るよう事業を進めてまいります。本年も就業にあたっては、シルバー人材センターの目的に誇りを持ち、社会奉仕と共に働く・共助で誠実に責任をもつて安全就業を最優先に就業することをお願い申しあげ、年頭のあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、清々しく希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本宮町・白沢村の合併を機に平成十九年に設立された本

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、清々しく希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、清々しく希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新規社会の進展により高齢者の方々の割合は年々高まっており、年齢に関係なく働き続けられるような社会の実現が求められています。

シルバー人材センターは、

新年のあいさつ

本宮市議会議長 矢島義謙



と、心よりお喜び申し上げます。

我が国は本格的な高齢者社会を迎えており、豊かで活力に満ちた社会として更なる発展を遂げるためには、皆様が長年に亘って培つてこられた知識や技術を活かして活躍されますが、これが不可欠となつております。このようなか、

貴センターは平成十九年の設立以来、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと就業を通じて高齢者の社会参加を推進し、地域社会の活性化に

宮市シルバー人材センターも、早や四年目を迎えようとしています。これまで、高齢者の就業機会の提供を通じて、高齢者の生きがいの充実や地域の活性化を推進してこれらました理事長をはじめ会員の皆様方に対しまして改めて深く感謝を申し上げます。

さて、最近の雇用情勢は、求人減少や雇用調整などにより依然として厳しい状況が続いている。また、少子高齢社会の進展により高齢者の方々の割合は年々高まっており、年齢に関係なく働き続けられるような社会の実現が求められております。

シルバー人材センターは、

大きく寄与されていることに對し、心から敬意を表しますとともに深く感謝を申し上げます。

市議会としましても、高齢者の就業機会の増大、生きがい対策等を本市の重要課題と認識し、活力ある高齢社会の実現に取り組んでまいります。

結びに、社団法人本宮市シルバー人材センターの益々の発展と会員皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、

市議会を代表し、新年のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかな新春をお迎えのこと

会員ひとり一人が豊かな経験と知識を活かし、お互いに協力し合いながら仕事を開拓し働くことを理念としており、ますますその重要性が高まる

と考えております。シルバー人材センターにおきましては、今後も高齢者の生きがいづくりと地域の活性化のために、

より一層充実した事業運営が展開されることをご期待申し上げる次第です。

結びに、社団法人本宮市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、会員の皆様方及び関係各位のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

接遇講習を受けて

家事援助グループ

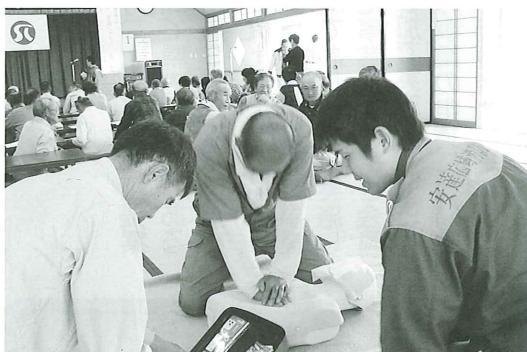
代表 沼 ミネ



九月九日に接遇講習を受講いたしました。講師は、郡山ソーシャルワーカー才 フィスの吉田光子先生をお迎えして「家事援助」の接遇の仕方を学習しました。自分の考えよりも相手の満足を優先するのが大切で、どうすれば満足するか。

それには、相手に聞くのが一番で、相手を理解するのが大切とのこと。訪問の家庭と自分の家庭では、掃除の仕方、洗濯物のたたみかた、もちろん食事の準備も違う、食材の処理の仕方、味付け等すべて違うので、どうやるかはすべて聞くのが大切とのことです。受けた仕事は、何をするか、どこまでやるか。

契約以外は、やらないこと。追加があれば事務局に確認する。自分では判断しない。追加契約を取り行うことが大切のこと。受注した時の事務局の確認が大切ですとアドバイスがありました。



救命講習



作業機械取扱講習会

事故発生時の緊急通報訓練

七月十七日に白沢老人福祉セ

ンターで作業機械取扱講習会・事故発生時の緊急通報訓練を実施いたしました。

講習会は、影山昭先生をお迎えして、機械の安全に使用するための取扱方法について講義をいただきました。

緊急通報訓練は、近年会員の就業中・就業途中の事故が多く発生している状況をふまえ、事故発生を想定し、救急の要請からセンターの対応等携帯電話を使い実施いたしました。

普及啓発部会

部会開催

総務部会

「月刊シルバー」から「わが故郷じまん」の投稿依頼があり、原稿の検討と理事会から付託された事項の検討を行なうため、八月十九日に総務部会を開催いたしました。

※「月刊シルバー」の編集モットーは、多くのセンターに登場していただき、親しみやすい機関紙つくりを行っていること。この企画は、ふるさと市との概況と自慢、文化財の紹介、そして当センターの紹介を原稿にまとめました。

記事は、「月刊シルバー」の十一月号に掲載されました。

※ 理事会から付託された事項は、次の二点です。

①組織運営体制の機能

②公益社団法人制度移行の進行管理

③会員の社会参加
初会議のため、再度検討することとしました。

九月一日、会員入会説明会の事前打ち合わせと理事会から付託された事項の検討を行なうため、普及啓発部会を開催いたしました。

入会説明会は、三理事の説明が良かつたと自負

いたしました。
付託事項は、次の二点です。

①地域班の活動の検証

前年の班活動の報告をいただき、今年の参考

意見といたしました。

②普及啓発の検証

会報シルバーだとよりとホームページの誌面について、会報は、想像以上の出来栄えに広報

委員の皆さんに感謝。ホームページは、開設

から随時訂正し、見栄えが良い紙面となつて いる、今後も随時訂正し最新の紙面つくりをお願いしたい。

③会員入会説明会は、会を知つていただくことと理事会運営から必要と感じる、次回三月にも開催してはどうかとの意見が出されました。以上、付託事項の検討結果を報告いたします。

会員入会説明会を開催

広報もとみやに周知の掲載をいただき、六十歳以上の皆さんを対象に九月一日シルバー会員の入会説明会を実施しました。

参加者には、普及啓発部会担当の理事から会の目的、事業、理念等の説明をし、参加者一人ひとりに個人面談をいたしました。

会員の増強のため、次回は、三月に開催を予定しております。



企画研修委員会

七月二十二日に企画提案型方式で県内先進地である須賀川市SCを研修のため訪問いたしました。

企画提案型事業を一事業行なっており、市が実施していた事業を受け継ぎ会員全員参加で実施しています。

この事業の申請については、準備等含め詳細に説明をいただき、事業実施に向け大変勉強になりました。



新会員加入者名

二十二年六月から十月

役員研修

十月二十日、理事会の研修として先進地の茨城県常陸太田市SCを訪問いたしました。

会員の入会は、四六五名、粗入会率は、二・二%、配分金収入額は、一億七千八百一十一万円、独自事業は、手芸品及び農作物の生産・販売の活動を行なつておりました。また、安全就業と会員の自立を重点に事業推進していることは、当センターの今後の課題に大変参考になりました。

定期監査

本会の監査計画第三条の規定に基づき、平成二十二年四月～九月の上半期の事業状況について、根本義一監事・村上敬子監事から九月二十七日付、定期監査の実施通告により、十月二十九日定期監査が実施されました。

監査の内容は、就業状況および事業実施状況に伴う、財産状況、会員百八十名の会費の納付状況、国・県・市からの補助金の収入状況、事業に伴う収入、就業した会員への配分金等の支払状況、現金・預貯金出納、事業に伴う支出からの収支計算書、理事の業務執行状況、その他として、

帳、会員事故対応のための団体傷害保険と就業中に他人の物を壊した場合の賠償責任、二つの保険の契約等の管理状況等の十項目について監査を受けました。

監事から、就業に伴う収入及び配分金、事業運営等の収支計算、運営の内容について、事業の内容につき、事業の内容について、定款の規定に基づき、実施されている。今後も会発展のため適正・的確な運営に努めるよう申入がありました。

センター事業実績 平成22年4月～9月（上半期）

発注先	受託件数	就業人員		契約金額			計
		延実人員	延人員	配分金	事務費	材料費	
公共事業	96	728	3,714	19,407,181	1,407,210	150,410	20,964,801
一般企業	71	391	2,400	8,691,676	879,877	309,293	9,880,846
個人家庭	264	705	1,083	5,054,656	462,908	522,997	6,040,561
独自事業	0	0	0	0	0	0	0
派遣事業	9	43	541	2,381,800	494,223	0	2,876,023
計	440	1,867	7,738	35,535,313	3,244,218	982,700	39,762,231

みんなの広場

シルバーライフ(人生)

菅野 昇次



昨年は、五十

年ぶりの猛暑に
悩まれ、田安
と秋の野菜高騰
とまれに見る経
験をしました。

光陰矢の如しと申しますが、毎年始め

に、カレンダーに仕事の予定を書き入れ、
今年も元気で働けるよう願うもので
す。

私の就業は、駐輪場の管理です。

毎朝、高校生に元気なさつを受け
ると一日がさわやかですが嬉しい気持
ちになります。

シルバー人材センターで十三年間働け
た事に感謝しています。

就業の思い出は、決して平坦な道ばかり
ではありませんが、前向きに頑張って
います。

日曜日には、趣味の将棋を楽しんで仲
間と切磋琢磨しています。

地区代表として、市の将棋大会に出さ
せていただき、しかも優勝と言つ感激を
味わいました。

今は、将棋が唯一
の楽しみになっています。

ふれあいが大切

國分 幹夫



平成十四年、
白岩の堀さんに
誘われてシルバ

ー人材センター
に加入しました。

当時は、糠沢地区の加入者は少なく多
少戸惑いもありました。

当時の事務局長は、役所の職員が兼務
し、就業その他においても手厚い指導と
支援があり、今の自分があると感謝して
います。

今まで、会に参加して感じたことは、
個人によって作業能力に差があります。
シルバー人材センターの理念である「共
働・共助」は、チームワークで作業を力
バーすることが基本となっています。

会の運営としては、一番大切な基本理
念ではないでしょうか。

班長からの指示は、安全就業するため
の指示であり、素直に受け止め就業に専
念することこそ仲間からの信頼を受けら
れると言えています。

このじう特に楽しみとしているのは、
仲間と楽しくお酒を酌み交わすことです。

会員互助会だより

全国一斉「シルバー人材センター 普及啓発促進月間」参加事業

十月は、「シルバー人材センター普及啓発促進月間」として地域
参加型のボランティア活動・地域環境の美化活動が全国一斉に展
開されました。

この事業に合わせて、全員参
加型の「奉仕活動」を実施いた
しました。

①開催日時
十月三日（日曜日）

②奉仕活動場所
* 本宮地区会員
みずいろ公園

* 白沢地区会員
白沢老人福祉センター



▲本宮地区みずいろ公園

感謝の集い

一泊旅行

①開催日
十月二十八日
②行き先
会津方面
③参加人数
会員 二十一名
事務局 二名

①開催日
十一月八日～九日
②行き先
新潟方面
③参加人数
会員 十一名
事務局 三名

当日の天候は、あいにくの雨
でしたが、天鏡閣、飯盛山、会
津武家屋敷、大内宿、塔のへつ
りを見学しました。会津の紅葉
の映えは最高でした。

田子倉湖の紅葉がとても素
晴らしく、楽しい宴会が行な
われ一日目は、風が強く白波
が跳ねる日本海・莊嚴な弥彦
神社を見学しました。

二月一日会員募集説明会

就業による生きがいを見つけませんか！！

健康で働く意欲のある六十歳以上の方々の入会説明会を開催します。

一 入会説明会 三月一日(火) 午前十時
二 説明会場 シルバー事務所(本宮字太郎丸一一二一三)
三 電話 三四一五二三六
四 担当 管理係

社団法人
本宮市シルバー人材センター

インターネットを開いて見てください。
<http://www.silver-motomiya.com/>

シルバー人材センターの
経験豊かな会員が
丁寧なお仕事をいたします。

お仕事のご依頼について

- このようなお仕事が出来ます
- おもな利用料金
- お申し込みについて

入会をお考えの方へ

- シルバー人材センターとは？
- 入会のご案内
- センターの歩み

シルバー人材センター情報

- センターの運営状況
- 情報公開について
- センターへのアクセス
- リンク集
- 閲覧申出書
- シルバー便り

シルバー情報をホームページで見てみませんか

本会の情報をホームページに掲載しております。
掲載の内容は、次のとおりです。

*お仕事のご依頼について

- ・仕事の内容
- ・利用料金
- ・お申込み方法

*入会をお考えの方に

- ・シルバー人材センターとは
- ・入会のご案内
- ・センターの歩み

*シルバー人材センター情報

- ・情報公開
- ・センターへのアクセス
- ・閲覧申出書
- ・シルバーだより創刊号から3号

七月九日、会津若松市シルバー人材センターに「会報の紙面作りについて」視察研修のため訪問いたしました。業務繁忙な時節に、福田理事長さん始め、富田広報部長さん、大賀副部長さん、小松山委員さん、秋山次長さん、大内係長さんが出席していただき、平成九年から第三十七号までの誌面つくり、原稿収集、校正と発行までの苦労話し等、懇切丁寧にご指導いただきました。

会津若松市SCの会報の主な内容は、センターでの活動内容を通じて出来た仲間や、働く事により生きがいや楽しみを見つけたなどの原稿掲載が良かったと思います。

会報の紙面つくりについては、編集から発行まで委員会で行なっており、自発的に編集委員会に参加し、原稿依頼や原稿集めは、委員で話し合い、編集構成から発行までを委員会が行なっています。発行までの苦労話では、原稿を依頼しても引き受けてくれる人が少なく大変苦労しているとのことでした。

また、会員同好会が作られていて、写真同好会と連携し、紙面を飾る写真は、豊富にありました。

自分達は、事務局を中心で発行している現況から大変勉強になりました。委員一同、新たな意欲で紙面つくりをしてゆきたいとの意見でした。

委員会 委員長 委員会 委員長
員員員員員員員員
川佐藤榎戸遠藤菊地
名安雄啓子正志次雄
力



会津若松 SC 福田睦之理事長のあいさつ

編集後記

広報委員視察研修